

栄養管理部

谷川 清

栄養管理室は、栄養サポートチーム（NST）や褥瘡対策、摂食嚥下、緩和ケアなどのチーム医療に積極的に参加するとともに、各病棟の NST リンクナースをはじめメディカルスタッフとの連携を強化し入院患者の栄養状態の改善・維持、免疫力低下防止や治療効果及び QOL 向上に努めている。また栄養食事指導では、腎臓病、糖尿病等の慢性疾患や術前術後等についても積極的に取り組んでいる。食事提供関係では、院内約束食事箋規約を見直し、食種の追加変更を実施、術前術後の栄養管理、化学療法での食欲低下患者、嚥下障害患者の栄養維持改善と喫食率の向上に努めてきた。

今年度の、栄養管理室で行った主な取り組みについて下記に示す。

1. 栄養サポートチーム

平成 25 年 6 月より栄養サポートチームを嚥下障害・内科系疾患とがん・外科系疾患の 2 チーム体制とし、より専門性に特化した細やかな対応が可能となった。また病棟カンファレンスの拡大を進め担当栄養士をそれぞれに配置するとともに、栄養アセスメントの電子カルテ化による入力簡素化、低栄養抽出グループを中心とした取り組み強化により依頼件数も増加、年間加算件数は 2848 件となった。

2. 栄養食事指導

術前術後を対象とした患者をはじめ糖尿病教育入院、腎臓病、嚥下障害やサルコペニアなどの栄養食事指導を積極的に実施している。外来の継続指導を中心に全体的に件数は増加しており、特に糖尿病、腎臓病、嚥下障害患者の栄養指導件数が増加した。

指導内容によっては栄養評価方法の一つとして、電気インピーダンス法（INBODY）による体液量、体脂肪量、体蛋白量等の測定、体組成評価も併せて実施している。

3. 1 型糖尿病専門外来指導

1 型糖尿病患者を対象に、食事や活動、インスリン量などについての指導を 7 月から開始。インスリンポンプ導入患者には、栄養食事指導時に糖質を計量するカーボカウントとポンプ機能について説明、患者自身が食事に合わせてインスリンを調整することができるなど、食生活に沿った指導内容となっている。またポンプ導入のための入院患者に対してもカーボカウントについての指導を行うなど徐々に件数も増え、月平均 20 件増加。

4. 糖尿病透析予防指導管理料

平成 24 年度から新設され、糖尿病内科医師、専任看護師と専任管理栄養士でチー

ム体制を構築し月4回実施している(現在140名の登録者数)。「糖尿病透析予防外来」受診患者から収集したデータベースを構築。腎症の臨床経過を追跡、生活スタイルを含めた環境要因と食物摂取頻度調査、体組成成分分析から腎症進展・寛解に影響を及ぼす栄養学的関連性を調査、さらにチーム介入による腎症進展抑制効果について検証する。

5. Nutrition Week

栄養管理の最新・高度の知識・技術を修得させ、サービスの質と提供体制の均質化及び向上を図ることを目的として、ニュートリションウィークを開催した。

今年度は日本病態栄養学会「NST実習技能研修」として開催し7月1日～7月5日に実施。当院と、民間病院を合わせ14名を受け入れた。

6. チームの活性化と栄養療法の質的向上を目指し、NSTセミナーを開催

- ・ 6月13日 「腸管免疫への新たなアプローチ～さあ栄養管理を始めよう～」
担当：栄養管理部
- ・ 7月 5日 「重症患者の栄養管理～エビデンスの整理と実践の工夫～」
講師：兵庫医科大学 救急・災害医学講座主任教授 小谷穰治先生
- ・ 9月26日 「できますか？栄養スクリーニングとアセスメント」
担当：看護部（低栄養抽出グループ）・栄養管理部
- ・ 10月 3日 「のぞいてみようNST回診」
担当：看護部（回診チーム）・栄養管理部
- ・ 11月 3日 「口腔ケア～使ってみよう電動歯ブラシ～」
担当：歯科衛生士
- ・ 12月 5日 「輸液による栄養管理～脂肪乳剤の使用法～」
担当：薬剤部
- ・ 1月 9日 「栄養剤の特徴と試飲会～新規取り扱い食品を中心として～」
担当：栄養管理部
- ・ 2月 6日 「必須微量元素“亜鉛”について」
担当：検査科
- ・ 3月 3日 「下痢と便秘を考える」
担当：外科医師,栄養管理部

【2013年度研究発表業績】

A-0

Hayashi S, Takeuchi M, Hatsuda K, Ogata K, Kurata M, Nakayama T, Ohishi Y, Nakamura H .
The impact of nutrition and glucose intolerance on the development of tuberculosis in Japan .
INT J TUBERC LUNG DIS 2014 ;18(1):84-88

A-3

中山 環、鬼海るみ、高木加奈子、藤本有香、坂本育子、森岡靖、藤村晴俊：半固形状流動食の検証 各種増粘剤を用いた医薬品栄養剤における半固形化 人工胃液中での経時的粘度比較「ヒューマンニュートリション」5(5)： P20-24、2013年9月

大谷弥里、大池教子、岡田 彩、鳥山明子、風間敬一、加藤 研、森本竹紗、豊田久子、瀧 秀樹：教育入院中の2型糖尿病患者におけるEPA強化の有効性「医療の広場」54(3)：2014年3月

B-3

大谷弥里、中山 環、内田絢子、鳥山明子、岡田 彩、餅 康樹、高橋千尋、風間敬一、谷川 清、伊藤孝仁：保存期慢性腎臓病（CKD）患者の細胞外水分率に着目した栄養学的検討。第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会(JSPEN2014)、横浜、2014年2月

鬼海るみ、中山 環、藤本有香、巽奈津紀、藤村真理子、浅野弘美、藤村晴俊：とろみ調整食品を用いた半固形化短時間注入法における下痢予防の有用性。第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会(JSPEN2014)、横浜、2014年2月

内田絢子、鳥山明子、森住 蘭、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、奥田沙慧、中山 環、風間敬一、谷川 清、山本和義、鞍田三貴、西川和宏、平尾素宏、関本貢嗣、伊藤孝仁：胃癌患者における術前サルコペニアの割合と食事摂取量及び術後合併症の検討(第二報)。第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会(JSPEN2014)、横浜、2014年2月

B-4

谷川 清、浦田正司・表順子・藤村真理子・八木万希子・平野和保：長期経腸栄養管理患者への管理栄養士の役割に関する研究（第4報）～他職種から期待されることと今後の課題。第67回国立病院総合医学会、金沢、2013.11月

岡田 彩、中山 環、鳥山明子、森住 蘭、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、乾 彩子、永妻佑季子、奥田沙慧、野口恵里、古澤三千代、玉木綾子、小西大輔、古川八重子、松川佐和子、松本貴代子、風間敬一、青野幸余、玄 富翰、伊藤孝仁：NST介入期間に及ぼす因子-栄養指標の検討。第67回国立病院総合医学会、金沢、2013年11月

鳥山明子、藤谷和正、大池教子、岡田 彩、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、奥田沙慧、内田絢子、風間敬一、山本和義、平尾素宏：胃癌術後患者におけるエレンタール®服用による有用性の検討。第67回国立病院総合医学会、金沢、2013年11月

森住 蘭、内田絢子、鳥山明子、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、奥田沙慧、中山 環、谷川 清、山本和義、西川和宏、平尾素宏、関本貢嗣：消化器癌患者における術前サルコペニアの部位別発生頻度と摂取量の検討(第一報)。第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会(JSPEN2014)、横浜、2014 年 2 月

大谷弥里、大池教子、岡田 彩、鳥山明子、風間敬一、加藤研、森本竹紗、豊田久子、瀧 秀樹：教育入院中の 2 型糖尿病患者における EPA 強化の有効性。第 56 回日本糖尿病学会、熊本、2013 年 5 月

餅康樹、中山 環、岡田 彩、鳥山明子、森住 蘭、大谷弥里、高橋千尋、乾 彩子、永妻佑季子、奥田沙慧、野口恵里、大池教子、風間敬一、伊藤孝仁：急性腎前性腎不全および炎症反応高値を伴う症例におけるアバンド使用の有用性について。第 67 回国立病院総合医学会、金沢、2013 年 11 月

高橋千尋、中山 環、岡田 彩、鳥山明子、森住 蘭、大谷弥里、餅 康樹、乾 彩子、永妻佑季子、奥田沙慧、野口恵里、風間敬一、里見絵理子、伊藤孝仁：終末期患者における Palliative Prognostic Index (PPI) と栄養学的指標との関連。第 67 回国立病院総合医学会、金沢、2013 年 11 月

内田絢子、鳥山明子、森住 蘭、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、奥田沙慧、中山 環、風間敬一、谷川 清、山本和義、鞍田三貴、西川和宏、平尾素宏、関本貢嗣：高齢胃癌患者におけるサルコペニア発生率と術後合併症への影響。第 86 回 日本胃癌学会総会、横浜、2014 年 3 月

B-5

中山 環、鳥山明子、餅康 樹、谷川 清、玄富 翰、伊藤孝仁：実践活動事例報告最優秀賞「NST の 2 チーム体制による、栄養管理の充実を目指して」。平成 25 年度全国国立病院管理栄養士協議会総会、金沢、2013 年 11 月

鳥山明子、中山 環、森住 蘭、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、大土彩子、永妻佑季子、奥田沙慧、風間敬一、山本和義、平尾素宏：胃癌術後患者におけるエレンタール® 服用による有用性の検討。第 13 回関西がんチーム医療研究会、大阪、2013 年 9 月

森住蘭、内田絢子、鳥山明子、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、奥田沙慧、中山 環、谷川 清、山本和義、西川和宏、平尾素宏、関本貢嗣：消化器癌患者における術前サルコペニアの部位別発生頻度と摂取量の検討。第 10 回国立病院栄養研究学会、大阪、2014 年 1 月

森住蘭、内田絢子、鳥山明子、大谷弥里、餅 康樹、高橋千尋、奥田沙慧、中山 環、谷川 清、山本和義、西川和宏、平尾素宏、関本貢嗣：消化器癌患者における術前サルコペニアの部位別発生頻度と摂取量の検討。第 5 回南大阪・紀北 NST 研究会、大阪、2014 年 3 月

餅 康樹、中山 環、森住 蘭、大土彩子、奥田沙慧、古澤三千代、玉木綾子、小澤智子、小西大輔、谷川 清、青野幸余、玄 富翰、伊藤孝仁：～頭頸部癌領域における NST 介入～経口摂取が困難な患者への半固形短時間投与による経腸栄養の有効性。第 10 回国立病院栄養研究学会、大阪、2014 年 1 月

餅 康樹：炎症反応高値を伴う症例におけるアバンドの有効性について。第 2 回近畿学術集会、京都、2013 年 10 月

餅 康樹：プロシユア®の有効性。第 5 回南大阪・紀北 NST 研究会、大阪、2014 年 3 月

餅 康樹：～NST 介入症例より～頭頸部癌領域における 栄養士の関わり。第 23 回近畿栄養輸液研究会、大阪、2013 年 12 月

奥田沙慧：骨盤内全摘出術施行患者における周術期栄養管理により奏効した一症例。第 2 回近畿学術集会、京都、2013 年 10 月